



令和3年度サプライチェーンの 脱炭素化推進モデル事業の事業概要

2021年7月5日
地球環境局地球温暖化対策課



- サプライチェーン全体での排出量の抜本的な削減を目指す企業を対象に、目標実現に向けた具体的な対策の検討、及び削減計画の策定を支援

背景

- 我が国は、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言した。その実現のためには、主要な排出源である産業界の取組みを加速化させることが必須
- 意欲的な先進企業の間では、パリ協定¹に整合した削減目標であるSBT²等の設定が増加している。我が国でも108社が取得
- しかし、SBTの達成に向けては、自社のみならずサプライヤー等の排出 (Scope3) も含めた抜本的な削減が求められているため、具体的な削減対策の検討/計画策定に苦慮している企業も多い
- 日本企業の脱炭素経営を推進していくためには、サプライチェーンの脱炭素化に取り組むノウハウを確立していくことが必要

事業の目的と実施内容

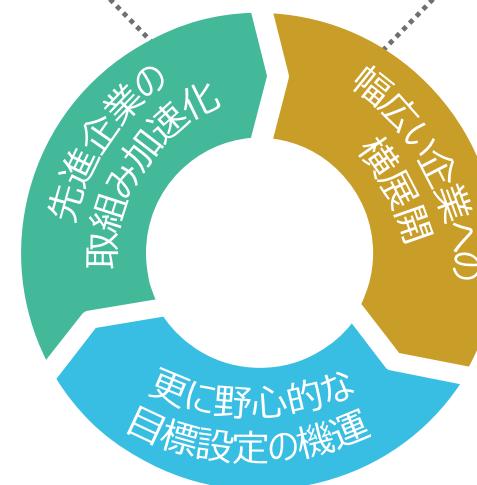
- 我が国でのサプライチェーンの排出削減のロールモデル企業を創出するとともに、幅広い企業にノウハウを横展開する。それにより、産業界の更なる削減の機運を高める
- その実現のため、本事業では、以下の2つの取組みを行う

① モデル企業支援

- 削減対策や計画策定を支援し、先進的なロールモデルを創出

② 知見のマニュアル化

- モデル企業支援で得られた知見等をマニュアル化して他企業に横展開



本事業における過年度の取組結果と、今年度を目指す成果

- 過年度までに10社の対策の検討及び計画策定を支援し、ノウハウをガイドブックとして取りまとめ
- 今年度は5社程度を支援してロールモデルを創出すると共に、過年度に作成したガイドブックを改訂

2020年度までの成果

モデル企業支援



10社の削減対策の検討/計画策定を支援し、排出削減計画の策定ロールモデルを創出

- ・ アスクル
- ・ 小野薬品工業
- ・ サントリーHD
- ・ セイコーエプソン
- ・ ユニ・チャーム
- ・ 東急不動産HD
- ・ 日清食品HD
- ・ ファミリーマート
- ・ ベネッセコーポレーション
- ・ 明電舎



削減計画策定 ガイドブックの作成



支援を通じて得たノウハウ等をガイドブック化

- 第0章 経営課題としてのGHG排出削減の重要性を理解する
- 第1章 排出削減に向けた将来の事業環境変化を見通す
- 第2章 自社のGHG排出の現状と今後の見通しを把握する
- 第3章 排出削減のための取組みを構想する
- 第4章 SBT達成に向けたロードマップを策定する
- 第5章 自社の取組みを社内外のステークホルダーに伝える

ガイドブックは、環境省ウェブサイトに掲載中
「SBT等の達成に向けたGHG排出削減計画策定計画策定ガイドブック」

<http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>

2021年度取り組み予定

5社程度の支援を通じ、
サプライチェーンの排出削減の
ロールモデル創出



本モデル事業の結果を踏まえて、
「SBT等の達成に向けたGHG排出削減
計画策定ガイドブック」を改定

モデル企業支援に参加する企業が取り組む内容

- 参加企業がボトムアップ/トップダウンの双方のアプローチから、排出削減目標の達成に必要なサプライチェーン全体での削減対策を見出し、その実行計画を取りまとめる

1

排出削減の意義の明確化



各企業を取り巻く状況や戦略を踏まえて、脱炭素経営に取り組む経営戦略上の目的・意義を明確化したうえで、目標の達成のために必要な排出削減の量を確認する

- 中期経営計画等の全社戦略と排出削減の取組みの関係の明確化
- 削減計画の対象とする範囲や、削減目標の確認
- BAU排出量¹と削減目標とのギャップの明確化

2

排出削減施策の検討



目標達成に必要なサプライチェーン全体での排出削減の具体的な施策を検討

- サプライチェーンの排出量の分析により、重点的に対策が必要な排出源の特定
- トップダウン/ボトムアップ双方からの施策の検討
- 施策の削減インパクト/フィージビリティの評価と優先取組施策の選定

ボトムアップ・アプローチ



個別の分野・プロセスの改善の積み上げによる排出削減

トップダウン・アプローチ



企業経営の抜本的な脱炭素化による排出削減

3

実行計画の策定



施策を実施するために必要な体制整備等も含め、実行計画として取りまとめる

- 削減施策の進め方、実施時期のロードマップ化
- 社内での計画実施体制、PDCAの進め方
- 全社戦略への反映や对外発信の方針

- 参加企業は、コンサルタントの支援を受けつつ、自らが主体的に検討を進めることでノウハウを習得

参加企業



コンサルタント



検討状況や悩みの共有

ノウハウや知見の共有、
課題解決のための議論

実施内容

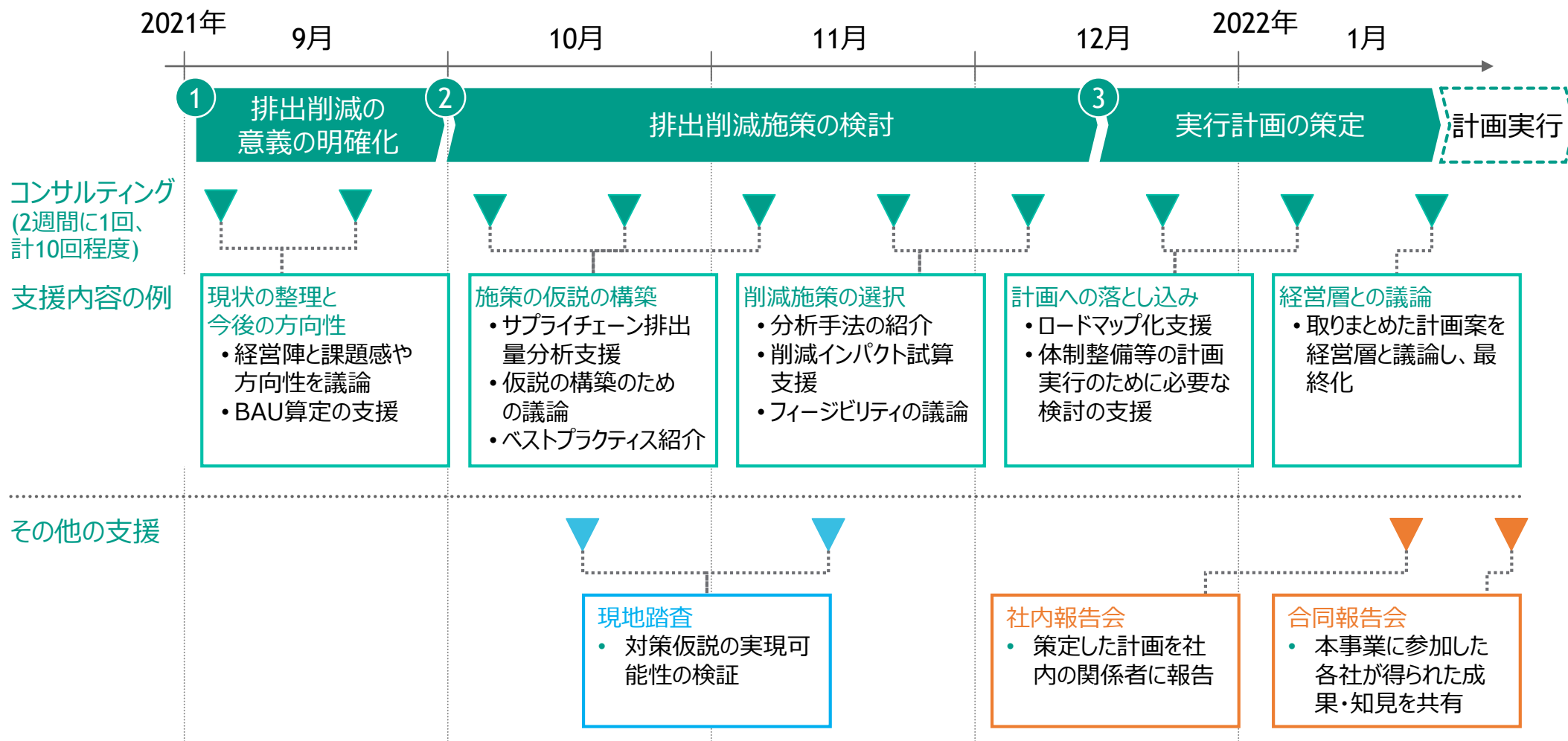
- 関連データ/情報収集、関係者ヒアリング/調整、分析、検討等を通じた計画策定業務

支援内容

- 先進企業のベストプラクティスの紹介
- 経営陣との議論を通じた方向性の明確化
- 検討の進め方や内容に関するアドバイス
- 作成すべきアウトプットイメージの提示 等

支援の実施スケジュールのイメージ

- 約5カ月間にわたり対象企業の対策の検討/削減計画の策定を支援
- 社内向け報告会やモデル事業参加企業との合同報告会により、得られた成果・ノウハウを共有



注: 実際の進め方は、各社の検討状況や支援ニーズに応じて決定

採択企業の決定の際に考慮する主な観点

- サプライチェーンの排出削減に取り組むモデル企業を創出するという趣旨に鑑み、以下の観点を考慮して採択する企業を決定する

✔ : 必須要件 (✔) : 満たすことが望ましい要件

本事業への コミットメント

- ✔ SBT等のサプライチェーンを含めた排出削減目標を設定済み (あるいはコミット中)
- ✔ CEO等の経営トップも含めて本事業に取り組むコミットをしている
- ✔ 社として¹ 主体的に計画策定業務を実施する意欲を持ち、必要な人員、時間等のリソースを確保する

削減計画検討 の準備状況

- ✔ Scope別の排出量など、検討の基礎となるデータがある
- (✔) 本事業の中で詳細に検討したい削減施策のアイデアがある
- (✔) サプライチェーンの削減のために協力する具体的なサプライヤーの目途がついている

ロールモデル としての 波及効果

- ✔ モデル事業の成果を、経営層や調達部門等を含む「社内報告会」で報告する。また、モデル事業に参加した企業で成果を発表し、情報を共有する「合同報告会」に参加する
- ✔ 自社の取組みについて削減計画策定ガイドブック等に掲載することに積極的に協力する
- (✔) 過年度の本モデル事業で支援した企業と異なる業種や取組内容がある²

